



# はよくひ通信

第  
2021  
号



## ゆく年くる年

### ご挨拶

令和2年は、未曾有の脅威ともいえる新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中が麻痺状態に陥った年となりました。

当寺もその影響を少なからず受け、行事の縮小や中止とさせていただきました。しかし、そのようないかだいに厳しい中でも従業員一同で前を向き、WEB授与の充実やオンライン法要など今までとは違う試みに挑戦しました。

本年も伝統の守るべきは守り、変えるべきは変え、多くの皆様に寄り添うお寺を目指し、日々精進してまいります。

### ◆令和3年の干支暦「辛丑」

令和3年の干支暦は「辛丑（かのどうし）」にあたります。「辛」は「十干」、「丑」は「十二支」のひとつで、「干支」とは十干と十二支を組み合わせたものを指します。

五行説では、辛は「金」、丑は「土」の性質を持ち、「滞積した土の中にある金」を意味することから「土生金」と言い、相性の良い相生関係にあります。つまり、暦上の相性は良いといえます。

「辛」は砂金・珠玉に例えられ「華麗」「感受性」を表すほか、十干では「何かが新しく生まれる」とされます。また「丑」は動物の牛に例えられ「粘り強さ」「誠実さ」を表すほか、十二支では「新しい命がもうすぐ生まれる」とされます。つまり来年は「真っ暗な土の中にも、自分の中にある鉱脈から珠玉を見つけることができる」という年回りです。

自分の進むべき道を信じ、粘り強く努力して日々を過ごすことができるれば、新しい自分（珠玉）と出逢うことができるでしょう。



大藤元裕  
萬松寺 四十二世住職

## 初詣大般若会

正月元日(金) 2日(土)

10時～16時

受付時間：9時半～15時半

場所：不動堂・稲荷堂

受付：本堂1階

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・暦

祈 祷 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・暦

祈 誓 二千円

御札・干支絵馬・暦

## 初稻荷大祭

1月4日(月)

11時～14時

受付時間：11時～13時半

場所：稲荷堂

受付：総合受付

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・暦

祈 祷 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・暦

ご祈祷後、粗飯を召し上がっていただきます

当日のご来寺が難しい場合はご不参としてご祈祷を行い、御札・御供物などは送らせていただきます。お申込み時にその旨をお伝えください。



これから行事

# 2021年間行事

1月  
1日(金)

2日(土)

**初詣大般若会 不動堂・稻荷堂**  
身代不動明王、白雪稻荷のご真前にて、大禍のない一年を祈祷する大般若会を行います。

3日(日)

4日(月)

**正月合同法要 白龍ホール**  
墓地や納骨堂に眠るご先祖様や大切な方に、新年のご挨拶を兼ね追善供養を宮みます。

5日(火)

6日(水)

**初稻荷大祭 稲荷堂**  
白雪稻荷のご真前にて、仕事始めの開運祈祷を行います。

7日(木)

8日(金)

**昇龍焚き上げ 境内**  
正月飾りや古い御札、お守りを読経と淨火によりお焚き上げし、併せて凶返しの護摩焚きを行います。

9日(土)

10日(日)

**節分会 本堂**  
立春の節分に、開運招福の祈祷と豆まきを行います。

11日(月)

12日(火)

**星祭 不動堂**  
当年星と本命星を祀り、除災招福の祈祷を行います。

13日(水)

14日(木)

**涅槃会 本堂**  
お釈迦様が亡くなられた日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を宮みます。

15日(金)

16日(土)

**本堂**  
お釈迦様が亡くなられた日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を宮みます。

3月  
3日(水)**信秀忌 本堂**

万松寺を建立した織田信秀公の命日供養を宮みます。

**災害物故者追悼法要 本堂・境内**  
震災などの災害で亡くなった世界中の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を宮みます。

**春彼岸合同法要 白龍ホール**  
彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を宮みます。

**初午会 稲荷堂**  
旧暦初午の日に、白雪稻荷のご真前にて、五穀豊穣・商売繁盛の祈祷を行います。

**秋期不動明王大祭**  
令和2年9月28日（月）  
身代不動明王のご真前にて、災難消除・病氣平癒・無病息災・身体健全・交通安全・家内安全を祈願して祈祷を行いました。

**第33期竜王戦 第2局**  
令和2年10月22日（木）  
23日（金）  
本堂で将棋の竜王戦が開催されました。

**秋葉大祭**  
令和2年12月16日（水）  
秋葉三尺坊大権現のご真前にて「火盜潜消」「商売繁盛」などの祈祷を行いました。

本堂

**万松寺日記****秋葉大祭**

令和2年12月16日（水）  
秋葉三尺坊大権現のご真前にて「火盜潜消」「商売繁盛」などの祈祷を行いました。

**秋葉大祭**  
令和2年9月20日（日）  
21日（月祝）  
万松寺納骨堂に安置させていたいる故人の靈位を懇ろに供養させていただきました。

**秋葉大祭**  
令和2年12月16日（水）  
秋葉三尺坊大権現のご真前にて「火盜潜消」「商売繁盛」などの祈祷を行いました。

**第33期竜王戦 第2局**  
令和2年10月22日（木）  
23日（金）  
本堂で将棋の竜王戦が開催されました。

**秋葉大祭**  
令和2年9月28日（月）  
身代不動明王のご真前にて、災難消除・病氣平癒・無病息災・身体健全・交通安全・家内安全を祈願して祈祷を行いました。

**秋葉大祭**  
令和2年10月22日（木）  
23日（金）  
本堂で将棋の竜王戦が開催されました。

**秋葉大祭**  
令和2年9月28日（月）  
身代不動明王のご真前にて、災難消除・病氣平癒・無病息災・身体健全・交通安全・家内安全を祈願して祈祷を行いました。

**秋葉大祭**  
令和2年10月22日（木）  
23日（金）  
本堂で将棋の竜王戦が開催されました。

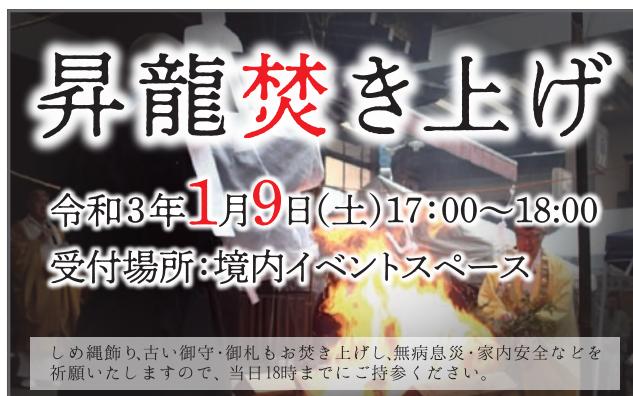
**秋葉大祭**  
令和2年9月28日（月）  
身代不動明王のご真前にて、災難消除・病氣平癒・無病息災・身体健全・交通安全・家内安全を祈願して祈祷を行いました。

**秋葉大祭**  
令和2年9月28日（月）  
身代不動明王のご真前にて、災難消除・病氣平癒・無病息災・身体健全・交通安全・家内安全を祈願して祈祷を行いました。



15日(日)	14日(土)	12日(木)	8日(火) 9日(水) 10日(木)	8月	10日(土)	7月	28日(金)	5月	28日(水)	4月
送り火 白龍ホール・本堂前  夕刻に松明を焚き、ご先祖様や大切な方の精靈を淨土へお送りします。	旧暦七夕  願いを込めて奉納された短冊や護摩木	迎え火 白龍ホール・本堂前  夕刻に松明を焚き、ご先祖様や大切な方の精靈を現世へお迎えします。	お盆合同法要 白龍ホール  ご先祖様や大切な方が淨土から現世に帰つてくる旧盆の時期に、追善供養を営みます。	お盆合同法要 白龍ホール  ご先祖様や大切な方が淨土から現世に帰つてくる新盆の時期に、追善供養を営みます。	春期不動明王大祭 不動堂  28日の不動縁日の中でも縁の強い春と秋に、大祭として大般若会を行います。					

31日(金)	8日(水)	5日(日)	12月	28日(火)	25日(金)	24日(木)	9月	24日(火)
成道会 本堂  お釈迦様が悟りをひらかれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みます。  	成道会 本堂  お釈迦様が悟りをひらかれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みます。  ■スジャーダまつり宵山 4日(土) 境内	スジャーダまつり 不動堂前・境内  成道会に際して、苦行で倒れたお釈迦様を救つたスジャーダの功績を称えます。	秋期不動明王大祭 不動堂  28日の不動縁日の中でも縁の強い春と秋に、大祭として大般若会を行います。					



### 凶みくじが吉に変わる!!

#### ■凶返し吉祥護摩 凶みくじをひいた方 限定

凶みくじを「凶返し吉祥護摩」にくくりつけてお焚き上げすることで凶を天に返し、吉運を呼び込みます。護摩木に結ばれた「凶」の厄を落とした後は、護摩木の一部を「開運御守」としてお授けいたします。

受付期間: 令和3年元旦～1月9日17時

#### ■特別護摩

仮の世界への入り口となる護摩壇の火へ、名前と願目を書いた護摩木を投じて、祈願や供養を行います。一本ずつ読み上げ、お焚き上げすることで、護摩木の煙と共に願目を仏様に届けます。

受付期間: 令和3年元旦～1月9日18時

護摩木奉納料: 一体500円 当日の参加が難しい場合は事前に承ることもできます。

令和3年

## 万松寺 節分会

厄除け豆まき祈祷・星祭

2月2日(火)12時～17時

### 厄除け豆まき祈祷

場所: 本堂 (十一面觀世音菩薩真前)

読経読誦仏陀回向の功德と諸仏菩薩のご加護による、七難即滅・七福即生の祈祷をさせていただきます。あわせて厄難を払うとされる「豆まき」をしていただきます。

時間 12時～17時 受付 11時30分～16時30分

祈祷料 三千円 (枠をお持ち帰りの場合、別途 千五百円)

### 星祭

場所: 不動堂 (身代不動明王真前)

本命星と当年星がより吉勢となるよう、除災招福の祈祷をさせていただきます。

時間 12時～17時 受付 11時30分～16時30分

祈祷料 三千円

これを持ってきたら  
おみくじ1回  
ひけるよ!



# 豆知識

## スタッフが調べた

### おみくじ

前回より万松寺スタッフによる豆知識をご紹介しています。

今回はお正月も近いということで、札処スタッフ・江口が調べた「おみくじ」の豆知識です。

初詣や観光などで神社仏閣へ参拝する際に「おみくじを引いたことがある」という方は多いのではないでしょうか?

人々はなぜおみくじに魅かれているのか、またその起源や由来はどうななものなのか。

私は札処スタッフとしておみくじを授与していますが、深く調べたことはありませんでした。

今回、コロナによる影響で札処が閉店となつたことをきっかけに、おみくじがどのようにして始まり、現在のようになつたのかについて調べてみました。

**おみくじとは?**  
現在おみくじは、お寺や神社で吉凶を占うものとして広く一般に広まっています。

このおみくじは「御神籤」と書き、元々は「公平な判断」籤(くじ)に「神仏の意志」が記されるとされる占いの一つで、神聖で公平な判断として広く使われてきました。

日本でも古来より、国の政治にかかわる重要な事項の決定や後継者の選定において、神の意志を占うためにくじ引きをする習わしがありました。また戦国武将もくじで戦の日取りや戦い方を決めていたといわれています。

### 日本のおみくじ

日本でのおみくじの始まりは、平安時代の天台宗の僧侶慈恵大師(通称・元三大師)が793年に始めた、五言四句の漢詩百首によつて吉凶をあらわした「元三大師百籤」だとされています。これは「觀音籤」とも呼ばれ、觀音菩薩に祈念して授かった百枚の偈文で、現在のおみくじの紙のルーツになつたといわれています。

江戸時代に入り、徳川家康の側近であつた慈眼大師天海の夢枕で、元三大師が「觀音菩薩に祈念してもらつた籤が信州の戸隠にある。これを信心して占えれば吉凶を知ることができる」だといわれています。

万松寺でもお正月になると多くの方がおみくじを引いて、結果が良かつた方は厚徳載福となるように、悪かつた方は転福招福となるように、ぜひ中身まで読んでいただきたいと思います。

の番号に相応する偈文に書かれた吉凶が見事的中したという逸話が残されています。

現在も残る棒を引く占い方は、江戸時代に確立され受け継がれています。



私は今まで、おみくじは偶然性によって決まるものであり、気軽なものだと思っていました。しかし今回調べたことにより、おみくじは、偶然ではなくこれから起ころ吉凶禍福を知ることのできる神仏からのメッセージだと考えるようになりました。

そう考えると大吉から凶までの結果だけで判断するのではなく、神仏のお告げの部分である内容をよく読んで、書かれた内容を今後の行動や生活に活かしていただきたいと思いました。

万松寺でもお正月になると多くの方がおみくじを引いて、結果が良かつた方は厚徳載福となるように、悪かつた方は転福招福となるように、ぜひ中身まで読んでいただきたいと思います。

札処スタッフ 江口 悅子

## 新年の授与品

### 正月守り

正月守り 授与日 1月1日(金)~3日(日)  
節分・旧正月

身代不動明王のご真前で  
ご祈祷した正月限定の  
開運招福守です。



### 破魔矢

勢いよく魔を破る  
「丑」をイメージ  
した十二支絵馬付  
き破魔矢です。

### 正月限定御朱印

御朱印頒布期間 1月1日(金)~31日(日)

#### 干支記念書



#### 本尊 十一面觀音御朱印



#### 仏足御朱印



#### 白龍御朱印

